

介護ウェブ2024 推進ニュース

☆ 新しい介護請願署名キックオフ集会を開催（2024年7月30日）

7月30日（火）、中央社保協、全労連、全日本民医連主催の新介護請願署名キックオフ集会がオンラインで開催されました。キックオフ集会は介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善を求めて、新署名に取り組むことをテーマに開催し、過去最高となる450名以上が参加しました。

集会では、全日本民医連の林泰則事務局次長より、この間の介護保険制度見直しに対する取り組みの振り返りや、想定される今後のスケジュール、そして新しい介護請願署名の4つの請願項目の趣旨について、介護保険制度をめぐる情勢も踏まえて報告を受けました。

各地からの報告では、大阪社保協の寺内順子事務局長より大阪市の介護保険料高騰の実態や大阪市長宛てに税金の使用用途について要望書の提出行動・記者会見の報告と長野県社保協・藤本ようこ事務局長より、長野県内の訪問介護事業所へアンケート調査を行い、結果報告の記者会見の様子が県内で大きく報道され運動の大きな力となった。また市町村議会への請願・陳情を行い、38市町村で可決された」と報告がありました。

高すぎる大阪の介護保険料の実態とたたかい

2024.7.30 大阪社会保障推進協議会 事務局長 寺内順子

最後に日本医労連介護対策委員会の寺田雄事務局長より、行動提起として「①介護署名を積み上げ介護署名目標50万筆を達成する、②地方議員へ実態を届け自治体で決議させ、国へ決議を集中させる、③署名の紹介・国会質問を地元国会議員に要請する、④街頭宣伝とSNS宣伝を連動させ全国で大規模宣伝をする」の4点が提起されました。

当日資料&動画は中央社保協ホームページに掲載しています。

URL : <https://shahokyo.jp/category/kaiin/%e5%8b%95%e7%94%bb/>

介護請願署名2024スタート

介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善を求める請願署名
—介護する人、受ける人がともに大切にされる介護保険制度へ—

- 1 社会保障費を大幅に増やし、必要なときに必要な介護が保障されるよう、介護保険制度の抜本的な見直しを行うこと。介護保険財政に対する国庫負担の割合を大幅に引き上げること…【制度改善】
- 2 訪問介護の基本報酬を撤回し、介護報酬全体の大幅な底上げを図る再改定を至急行うこと。その際はサービスの利用に支障が生じないよう、利用料負担の軽減などの対策を講じること…【介護報酬】
- 3 利用料2割負担の対象者の拡大、ケアプランの有料化、要介護1、2の保険給付はずし(総合事業への移行)など、介護保険の利用に重大な困難をもたらす新たな制度見直しを検討しないこと…【改悪阻止】
- 4 全額国庫負担により、すべての介護従事者の給与を全産業平均まで早急に引き上げること。介護従事者を大幅に増やし、一人夜勤の解消、人員配置基準の引き上げを行うこと…【処遇改善】



訪問介護・基本報酬引き下げ撤回を求める取り組み

長野県社保協
事務局長 藤本 ようこ

介護する人・受ける人がともに大切にされる介護保険 介護保険制度抜本改善行動提起

- ①介護署名を積み上げる
- ②自治体決議(請願・陳情)
- ③署名紹介・国会質問を地元国会議員に要請
- ④全国で大規模宣伝

各地の取り組み 長野民医連

■ 介護報酬改善を早急に求める陳情39市町村で採択

長野県社保協と長野県民医連が共同で行った訪問介護事業所アンケートでは、長野県内の213事業所から回答があり、今回の報酬改定に対し「納得いかない」が91%と圧倒的な回答となりました。また今回の報酬改定で経営状況は「悪化する」「事業継続が難しくなる」との回答が合わせて73%を越える結果となりました。中山間地域にある民医連外の訪問介護事業所が縮小・撤退している影響で、新規の問い合わせが多くなっている訪問介護事業所がありました。

このアンケートをもとに各市町村6月議会へ「訪問介護報酬引き下げ撤回、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うように求める陳情書」を提出し、6月議会では39市町村で採択されました。残念ながら不採択となってしまった2町もありますが、これだけ多くの市町村で採択されたという事が、今回の報酬改定は受け入れ難い改定だという事を示しています。

今回の陳情では、民医連職員が議会で意見陳述の場に立ち介護現場の現状を訴えています。まだ陳情を提出できていない市町村もあるので、9月議会に向けて準備を進めます。

■ 市町村議会で介護の現状を訴える

6月市町村議会に提出した介護報酬引き下げ撤回、介護報酬引き上げ再改定を求める陳情に対して、各地の民医連職員が意見陳述をしています。

陳述に立った訪問介護事業所の職責者は「議会という場に立って発言し、全会一致で採択されたときは鳥肌が立った」「市町村によって温度差はあるが、賛成討論をしてくれた議員がいたことが非常に嬉しかった。

参加した職員からは「生活を守る仕事の大切さをかみしめて頑張ろうと思った」と感想を語っていました。

陳情項目

「訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うこと」

意見書採択状況

○採択(水色■)

長野市 須坂市 中野市 小諸市 松本市
安曇野市 伊那市 駒ヶ根市 飯綱町
山ノ内町 佐久穂町 軽井沢町 御代田町
上松町 南木曾町 下諏訪町 富士見町
箕輪町 飯島町 小川村 木島平村
野沢温泉村 栄村 川上村 南相木村
北相木村 麻績村 生坂村 山形村 朝日村
筑北村 木祖村 大桑村 原村 南箕輪村
中川村 宮田村 喬木村
木曾広域連合

○趣旨採択(緑■)

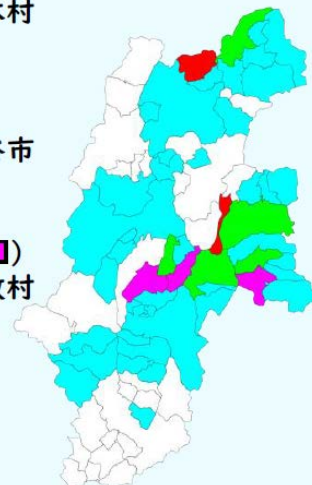
飯山市 佐久市 岡谷市
茅野市 小海町

○継続審議(ピンク■)

諏訪市 辰野町 南牧村

○不採択(赤■)

信濃町 立科町



※各地からの介護ウェブの取り組みを全日本民医連介護・福祉部へお寄せください。

多くのお問い合わせ、お待ちしております。

お問い合わせ先 介護ウェブ推進本部

TEL: 03-5842-6451

E-mail: min-kaigo@min-iren.gr.jp

全日本民医連事務局: 栗原・若林